

HOHOEMI

32



2023.9 – 2024.8



国際ソロプロチミスト淡路



「2023年度会長挨拶」

会長 泉 栄子

2024年の幕開けは、1月1日の能登半島地震、2日の羽田空港での地上衝突事故と衝撃的なものとなり、悲しみの記憶として私たちの心に深く刻み込まれました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された方々の心身の安全とケア、一日も早い被災地の復興を願ってやみません。

2019年12月初旬に、中国で第1例目の感染者が報告され、わずか数か月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症も、2023年5月8日から「5類感染症」となり、日本もようやく「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換し、1年ほどが経過しました。

国際ソロップチミスト淡路の2023年度の一年を振り返りますと、コロナ禍以前のように、各委員会は、ほぼ通常の状況に戻り、様々な活動ができたように思います。

また、会員からはより良い組織運営を目指して、具体的な問題提起、提案がなされ、活発な意見交換ができました。特にSI淡路事務所の維持については、検討の機会をもち全員の意見を集約できたことは、意義あることであったと思います。

「組織は人なり」という言葉がありますが、まさに「人材」は「宝」です。これらもお互いを尊重し合い、協力しながら学びを深め合える会として、ますます発展していくことを願います。そんな思いを込めて、次年度会長の谷村雅美会長エレクトにバトンをお渡ししたいと思います。



「第16回チャリティゴルフコンペ」2024/4/19

委員長 小川 はるみ

新型コロナウイルス蔓延にともない中断しておりました第16回チャリティゴルフコンペを5年振りに多くの参加者の多く無事に開催することができました。当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ参加者の皆様には気持ちよくプレーをして頂きました。

今年度は、初めての試みでプレー後の表彰式は行わず入賞者の方々には其々に賞品を受け取っていただき、流れ解散という形を取りました。チャリティ事業委員会では話し合いを重ね参加者、会員の皆様よりの協賛金は、本年元日に発生し

ました「能登半島地震」の義援金として兵庫県淡路県民局を通じて被災地へ送らせていただきました。不自由な生活を強いられている女性や女児のお役に立つことを願いつつチャリティの奉仕先としました。

委員会の皆様、会員の皆様のご協力、お力添えをいただき無事チャリティ事業を終えることが出来ました。一年間ありがとうございました。皆様の真摯なる友情に感謝いたします。



「ガールスカウト兵庫県第2団入団・フライアップ式 支援金贈呈」 2024/3/24

委員長 谷村 雅美

3月24日（日）洲本総合福祉社会館にて泉会長・谷村で参加させて頂きました。

ミッキーマウスマーチを演奏しながら入場し、今期は2名入団でのフライアップ式が行われました。

スカウトにはブラウニー・ジュニア・シニア・レンジャー部門があり、リーダーの前で目標を述べ、フライアップする心構えを確認し励ましの言葉を頂きます。そして真新しい部門のタイをかけてもらいリーダーとスカウトに出迎えてもらいます。

右手の親指と小指を重ね、残りの3本の指を伸ばした形の『サイン』
がとても印象的でした。



8つのおきての言葉や、ふるさと兵庫の歌を手話を交えながら披露していただき、その後無事に支援金をお渡しする事ができました。ガールスカウトは小学校の低学年からの団体で、地域の交流に参加し、学校では教えてくれない奉仕の心が身に付いて、輝く女性へ成長して行くんだろうな。と思いました。



「奉仕プログラム委員会」

委員長 正司 昌代

奉仕プログラム委員会活動のメインであった、「親と子のふれあい広場」（カレー作り、お菓子作り…）に代わる活動として今期はじめて「親と子のふれあい俳句大会」と題して、俳句に取り組み 俳句に親しんでみよう！と決まりました。我々の郷土の偉人 政治家で俳人の 永田青嵐氏について知るよい機会にもなることをサブテーマに。また、私たちのクラブには、俳句同好会があり多くの会員が俳句に通じ、三根会員を中心に同好会活動を楽しんでいます。その

ような恵まれた環境の中での取り組みでしたので 的確なご助言をいただきながら、無事に楽しく活動を終えることが出来ました。俳句大会当日の ペンと短冊を手にして、俳句作りに真剣なご父兄と子供さんの姿がとても温かく いとおしく感じました。

多くの方々のご協力を 心から感謝いたします。今後につながる活動となることを願いつつ。 ありがとうございました。

「趣味を持つ事の幸せ」

委員 木下 圭子

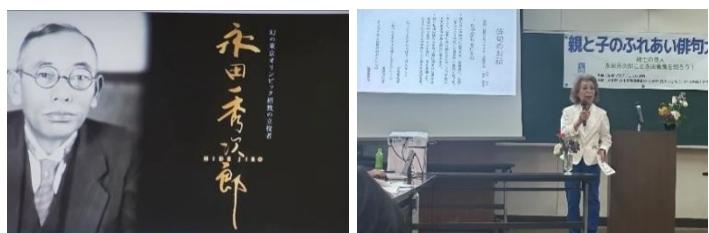
ソロプチミストの一員に入れて頂いたお陰で私はふたつの幸運に恵まれた。それまでの私は、ひたすら仕事をしていればその先幸せになれると言う大きな錯覚で人生を送っていた。そんな私に、趣味を持つ事の大切さをソロプチミストの会員から教わったのである。それは、岡田恭子会員のご主人、故岡田雅博先生が亡くなる寸前まで趣味の磯釣りを続けておられたのです。磯釣りにかけては日本の代表でありました。俳句が初めて奉仕事業に取り上げられた時、受講生が集まるかどうかが不安であった。しかし、当日ふたを開けてみれば、会場にいっぱいの人が真剣に俳句に挑んでいた。「これくらいの雨なら良い俳句の材料が見つかりますよ」三根先生の小学生に語り掛ける言葉に父兄が頷いていたのが今でも脳裏に残っている。益習館の太古の巨岩に目を見張り、子供たちが句材を探している光景は良いものであった。

趣味を持つ事は、生きる為の「大切な糧」であることを私はコロナ渦中に実感し、このことを教えてくれた人を人生の師として崇め感謝をしている。

「親と子の俳句大会に参加して」2024/6/9

委員 清木 なぎ子

令和6年6月9日、洲本市の益習館において「親と子のふれあい俳句大会」が開催されました。あいにくの雨ではありましたが、益習館の立派なお庭が雨によって、また違った風情を醸し出し、子どもたちの想像力をより一層、かき立てたのではないかでしょうか。子どもらしい句もたくさんありがとうございましたが、中には、小学生とは思えないほどの句もありました。俳句の奥深さを認識した一日でした。また、淡路島が生んだ偉人「永田青嵐」氏のビデオで、永田氏の功績に触れ、感動を覚えたのも事実です。子どもたちが、どれほどこのビデオを理解してくれたかは別として、になって、永田氏の事や、この日の感動や気持ちを、一緒に参加してくださったご家族と共に思い出して下されば幸いです。



「国際親善と理解活動委員会」

委員長 岡田恭子



昨期に引き続き新たな委員会活動が出来ていなかったと反省しています。

従来の引き継ぎ活動のみで過ごした一年でした。
来期の活動に期待しております。

「アワード委員会」

委員長 森 敦子

昨年度に引き続き、委員長をさせていただくことになりました。今年も関西看護医療大学より応募のあった学生の1名を、リジョナルプロジェクト「大学女子学生・専門学校女子学生支援金」（リジョン 夢を生きる賞）に応募したところ、嬉しいことに12名の内の1人に選出され20万円をリジョンより応募者に頂くことができました。夢に向かって頑張っている学生をソロプロチミストとして応援できることは大変有意義であったと思います。

次年度は夢を生きる賞にも応募し頑張っている学生を応援できることを楽しみにしています。



「スポンサーシップ委員会」

委員長 高島 久美子

8月17日午後3時より、蒼開中学校高等学校ジャズバンド部へ、我が国際ソロプロチミスト淡路よりの支援金の贈呈に行ってまいりました。

最初にラテン系、ジャズ系、ラテンとジャズのミックス系の3曲の演奏を聞かせていただき、その後支援金の贈呈、ジャズバンド部からのお礼の言葉、そして泉会長からの激励の言葉と続き、最後に保護者の方々にも入っていました。記念写真を撮って終了となりました。蒼開中学校高等学校ジャズバンド部の皆さんには、8月24日（土）、神戸

「大学女子学生・専門学校女子支援金贈呈式」

2024/5/9

委員 江川 隆子（関西看護医療大学学長）

今年も関西看護医療大学に推薦をお願いして、「夢に生きる」の賞にあたいる学生を推薦頂きました。その結果、大久保夢様がリジョン賞・SI 淡路賞を受賞しました。受賞式は、5月9日、関西看護医療大学で、泉会長、アワード委員会の森委員長、他会員の方々の参加を頂き和やかな授賞式ができました。受賞者の大久保さんは2年に進級して、豊かな人間性と他者に思いやりの心を持つ看護師になるために勉学に励んでいます。

リジョン賞・SI 淡路賞は、ご本人にとって一生の思い出になるだけでなく、これから勉学への大きな励みとなると信じています。受賞者学生の学校の代表として、心から国際ソロプロチミスト淡路のご支援に感謝申し上げます。また、受賞学生がアワード委員会の期待に添えるような看護師になれるように指導してまいります。



文化ホール大ホールで開かれる第39回ジャパンスチューデントジャズフェスティバルに参加されるとのことで、10数名の部員数ではありますが、2,000名収容できる立派なホールでの演奏を目指して日々練習に励んでおられます。前に出て来てのソロの演奏、トランペットを右へ左へと踊りながらの演奏、曲によって楽器を変える生徒さんたちもおられ、皆さんいきいきと楽しみながら緊張感を持って演奏していました。

これから蒼開中学校高等学校ジャズバンド部の活躍に期待します。



「35th Xmas funfun concert 2024/5/9 ～蒼開中学校高等学校ジャズバンド部～

泉 栄子

2023年12月23日（土）洲本市文化体育館文化ホールにて、蒼開中学校高等学校ジャズバンド部（SWJO）による35th Xmas funfun concertが開催されました。

1st stageは、「Begin the Beguine」をジャズバージョンとラテンバージョンで演奏して、アレンジの違いを聞き比べられる楽しい演奏を聴かせてくださいました。「Jingle Bells」は、10月開催される「パーカッション講座」を受講された小学生たちと演奏し、クリスマスコンサートを盛り上げました。2nd Stageは、フリューゲルホルンとトラン



ペットのソロ演奏（原田正美さん）が光る「Memory」映画イソシギの「The shadow of your smile」のソロはトロンボーン（春海迅さん）、リズムを楽しむ「Ballad For A Rough Year」では、部長（郡萌さん）がサックスのソロ演奏を披露してくれました。最高学年の3人は、このコンサートが最後の演奏ということで、感慨深いものがありました。「This Could Be the Start of Something Big」「Nadalin」「Mambo Jumbo」は、ジャパン スチューデント ジャズフェスティバルの課題曲で、SWJOが、優秀賞を獲得した3曲です。自信に溢れた演奏が見事でした。ミュージカルデレクターの伊波秀進氏をコンダクターに、パーカッションの伊波淑氏、吉岡史雄氏をスペシャルゲストに招き、藤岡まゆみ氏を司会にと、SWJOの生徒さんたちと息の合った楽しく聴きごたえのあるコンサートを展開されました。

「財務・歳入委員会」

委員長 小谷 恵美子

今期26名の会員維持出来ている事は、会費収入また諸々の収入源として安定している。財務運営にとってはとても嬉しい事です。

当委員会は予算書作成に始まり、委員各々が手際よく事柄を処理され、二人のトレジャラーは今、年度限の収支報告書作成に取り掛かっています。

歳入収益金も皆様の購買ご協力により目標10万円を遙かに達成しています。

能登半島地震義援金として本会計よりリジョンを通じ10万円、チャリティー事業収益金より淡路県民局を通じ30万円支援寄付出来ましたことは、会員の皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。



「規約決議・SOLT委員会」

委員長 江川 隆子



今期から規約決議とSOLT委員会が1つの委員会になりました。そこで、SOLT委員会の活動であるミニスピーチと新人研修に加えて、規約決議委員会の活動を合体して活動を進めました。その中で、クラブ細則の改正についても検討し、素案を今期の例会に提案し、次の委員会にクラブ細則（案）の改正を引き継いでもらいました。

「ソロプチミスト日本財団委員会」

委員長 三根 香南

『ソロプチミスト精神に学ぶ』

ソロプチミスト日本財団はソロプ

チミスト精神に則り、特に、児童および青少年の健全育成、自然環境の保護活動、発展途上国等への国際協力、豊かな人間性を涵養することを目的とする活動の顕彰および支援をしています。

一方、ソロプチミストの活動の一つに社会に役立つ活動を長年続けている人たちを発掘し日の当たる場に送り出す役目がありますので、今期の活動資金援助への応募、そして受賞は非常に意義のあることでした。

支援先の「淡路島ファミリーサポートセンター まあるく」は妊娠・出産・産後・子育ての悩みの相談に無料で応じている団体であり、高齢者や障害者に寄り添い、子育て世代とシニア世代の交流を果たすことによって、自然体の中で子育てが出来る社会の構築を目指しています。近年の夫婦共働きの増加により、働く女性の一番の悩みは留守の間の子どもの預かり施設なのでその役割も、重要な存在となっています。

応募した結果がどうであれ、私たちの一番の楽しみはクラブが行う表彰式です。

他者から学ぶ機会を大切にしたいものです。

なお、今期（2023年度）はソロプチミスト女性研究者賞へ応募いたしました。今期の委員会活動にご協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。



「メンバーシップ・出席委員会」

委員長 三原 潤子

今期のメンバーシップ・出席委員会は、片山委員、大継委員、正司委員、山岡担当理事、三原です。メンバーシップについては、会員の維持と新会員2名の獲得を目標に掲げました。メンバーの努力により、いくつかの良い反応を得ることができましたが、新会員の獲得には至りませんでした。この時期に新会員を見つけるのは困難であり、結果として会員の維持のみを達成しました。

出席については、80%以上の出席率という目標を達成しました。これも会員の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

また、移動例会の日時と場所についても決定しておりましたが、実施には至りませんでした。この件については次期委員会に引き継ぐ予定です。

今期の委員会活動にご協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。



「淡路島ファミリーサポートセンターまあるく」授与式 2024/1/18

委員 楠 日出子

ソロプチミスト日本財団令和5年年次贈呈式で「ソロプチミスト日本財団活動支援援助賞」を受賞されました「淡路島ファミリーサポートセンターまあるく」様への贈呈式を1月18日ホテルニュー淡路で執り行いました。

今回、受賞されました「まあるく」様は、高齢・疾病・心身障害等で日常普段の生活が困難な状況にある方々のお手伝い、サポートをする様々な事業を行っています。介護及び・子育て支援これらに関する啓発を広く社会に向

て行い、更に保健師、助産師と連携し妊娠・出産・産後のサポート、無料相談など多岐にわたり積極的に活動を繰り広げられております。SI路がこれらの事を知り、活動支援賞へ繋げられた事を大変うれしく思っております。また今回、ご推薦させて頂く過程において様々な関連機関（一例として関西看護医療大学等）とも連携が出来るようになりました。援助賞の贈呈だけに終わらず、今後とも継続的に見守り、支援していけたらと思います。



「ソロプチミスト日本財団年次大会贈呈式」

2023/11/8

委員 平岡 恵子

令和5年11月8日、東京国際フォーラムで贈呈式が行われました。江川会員、楠会員、平岡で出席しました。会場は有楽町の駅にあり、贈呈式会場は四階にありました。開会の辞が厳かに始まり一二五七名の観客のなか、来賓の挨拶に進み第四十四回贈呈式が行われました。女性研究者賞、受賞者の方は大学から二十年かけて、人間の皮膚の研究をされている方でした。素晴らしい発表でした。ドリーム賞、ボランティア賞など、名前が次々と呼ばれ、淡路島



ファミリーセンターまるくさんの名前が呼ばれ感動しました。大きな会場で沢山の方の拍手でした。最後に千容子様の挨拶で閉会を終えました。久しぶりに東京に行き、人生をかけての研究、人の為に手を差し伸べる方の体験の発表、並大抵の努力ではないと思います。感動の時を過ごさせて頂きました。

「10月新旧理事会慰労と激励の会」2023/10/12

委員 片山 紀子

近年コロナ禍の影響で、外部よりの講演者等をお招きしての移動例会は遠退いていました。

今期、コロナウイルス感染症も少し落着いた様子の為、兵庫県淡路県民局長 藤原祥隆氏にご講演を依頼致したところ快くお受けいただきました。

演題「淡路島の観光の取り組み－万博への対応とその先

へ」と題してのお話をとても解りやすく伺わせていただきました。

その後「新旧理事会慰労と激励の会」を淡路県民局長藤原祥隆様にもご参加いただき和気藹々の内会員の親睦を深めることができました。

尚この会の開催に当たりましては、淡路インターナショナルホテルザ・サンプラザ様には暖かいおもてなしを頂きありがとうございました。



「ファンダーガバナーデー」

三根 香南

「女性の活躍！」

2024年の夏はパリ五輪なしでは語れません。中でも柔道の角田夏実さんは、幾多の困難（体重別の階級の変更や年齢）を乗り越えてメダルを獲得しました。もちろん金ですがそれはメタルの色ではなく、彼女の確固たる信念に対するご褒美でした。

さて、毎年10月の例会は会場をホテルに移して千嘉代子様に献茶をし、お好きだった胡蝶蘭を飾り遺影に黙祷をささげるのが慣いです。

千嘉代子様は日本のソロプチミストの生みの親として1980年に82歳でご逝去されるまでソロプチミストの組織の発展と奉仕活動に献身的にお尽くしにな



られました。誕生日（10月6日）、をその遺徳をお偲びする日として、ファンダーガバナーデーと定めました。

ファンダーガバナーは奉仕活動のみならず、文芸にも秀でられ“山々の松も埋もれて見えぬまで咲くや桜の花の白雲”と詠まれた歌碑は日本リジョンによって京都宝ヶ池公園の敷地内に建立され、奉仕の尊さと女性が輝く世の中であるように碑文を通じて語りかけています。

「新春懇親会をふりかって」 2024/1/18

横井 加織

今年何年ぶりかで司会を仰せつかり、濱裕子会員とペアを組んで楽しく務めさせていただきました。

日頃、何かにつけて心配性の私はここ数年笑うことも減っていましたが、相方のお陰で三年分の笑う機会を得ることが出来ました。こんな箇所でミスるか！！と思う所で真面目な顔で当然のごとく間違えて台本を読み上げるのですから、私は笑いをこらえ切れずに思いっきり笑ってしまったのでした。そんなこんなで会員皆様のご協力のもと新春懇親会の司会を無事終えることが出来ましたこと感謝申し上げます。



「第38回リジョン大会」 2024/4/23

デレゲート 山岡 仁美子

2024年4月23日 第38回日本中央リジョン大会が、ホテルニューオータニ大阪に於いて 岡野路子ガバナーによる開会宣言により開催された。辻 真由実連盟理事による「新たな高みへ」と題しての連盟からのご報告があり、すべての女性と女児が、教育と夢を追い求めることが出来る世界に、また経済的エンパワーメントを達成出来る世界に、そして家族や地域社会をより良い形に変える変化の波を作り出す世界に！との熱いメッセージが心に深く染み込んだ。続いて SIA「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」の受賞者に賞状が授与された。午後より議長による全



体会議、信任報告、「2023 年度中間収支報告」、議案の「2024 年度日本中央リジョン一般会計、奉仕特別会計、特別予備資金会計の収支予算書（案）」はデレゲート全員賛成で原案通り可決。すべて滞りなく終了した。

「2023年度分科会」 2024/4/22

泉 栄子

4月22日（月）ホテルニューオータニ大阪 凤凰の間にて、午前中はメンバーシップ委員会、午後からは、アワード委員会の分科会に参加しました。

メンバーシップ委員会の分科会。テーマは「会員増強・維持について」～メンバーを減らさないようにする方法の模索～特に印象的であったのが、SI 静岡の後藤清江会員の発表でした。後藤さんは御年 96 歳。クラブのチャーターメンバーで、在籍 50 年。「今まで、健康で過ごすことが出来たのも、自分がソロプチミストだったからです。」とおっしゃっていました。会員増強・維持についての工夫については、メンバーシップと広報委員会が合同で企画。例会後の時間を使って、ティータイムコンサートやリンパケア講習会等を催し、一人の会員が一人をお誘いし、紅茶とケーキでおもてなしし、ソロプチミストの活動について説明するといった「ワン プラス ワン」をいう試みをされているとことでした。この「ワン プラス ワン」により、13 名

の新会員が入会され、今も活動されているということです。

午後からのアワード委員会の分科会では、2023 年度 日本中央リジョンの参加状況報告、そして大切な応募要綱の説明、受賞クラブ報告、上手な論文の書き方と続きました。応募するのにも、学校側に十分な理解を得ることが大切です。中には「推薦することをやめたい」とおっしゃる学校もあり、そのまま、経済的に困窮され苦学されている学生さんが、見つけられないままになるという残念なケースもあるようです。幸い当クラブでは、ご推薦していただける学校があり、関係性も極めて良好であり、今回のリジョンアルプロジェクトの大学女子学生支援金を獲得しております。前回の連盟賞 1 位だった小松美咲さんのスピーチにあった言葉ですが、「自分のいるこの場所でやっと平穏を感じることができた。」という言葉がとても感動的で、これらの賞の意義を実感しました。



三原 潤子

3月28日(木)に、平川会員、森会員、そして私(三原)の3名でSI神戸チャリティバザーに参加しました。会場はポートピアホテル本館地下1階で、到着したのは開始40分前でしたが、すでに長い行列ができていました。

会場では、会員によるフリーマーケット、福祉団体のお店、花屋、洋服店、食品販売など多彩なブースが並び、食堂や喫茶も充実していました。その規模の大きさに驚くとともに、SI神戸の皆さまの奉仕の精神に深く感動しました。



このイベントで集まった収益金は、ヤングケアラーを支援するNPO法人神戸コースネット「ふうの広場」と、JR神戸駅近くのこども食堂「SIMASIMA」に寄付されました。SI神戸の奉仕活動に触発され、買い物や食事、楽しい会話を通じて、素晴らしい親睦の一日となりました。

「SI神戸東 認証40周年記念式典・祝宴」 2024/5/14

森 敦子

5月14日(火)神戸ポートピアホテル大輪田の間で行われました。ガバナーはじめリジョン理事会メンバー、委員会は京都と第III地区所属の会員、SIA理事、歴代ガバナー、フレンドシップリンクを結んでいるSI石巻、SIおきなわ、兵庫県下17クラブより合わせて約170名、当クラブからは小川副会長、平川C・セクレタリー、北平理事、三原会員、森の5名で参加しました。2年後に40周年を迎えるにあたり、大変参考になることも多く、いかに無駄を省くか、でも出席者にいかに満足いただくかを考えたお洒落で温かみのある素晴らしい式典・祝宴でした。



「虹のかたつむりの集い」 2024/5/23

樋本 揚子

5月23日(木)に第26回虹のかたつむりの集いチャリティコンサートに北平会員、小川会員、樋本で行ってまいりました。

場所は神戸ベイシェラトンホテル&タワーズです。今年は能登半島地震の復興支援をテーマに掲げ被災地でボランティア活動を行った「全国災害ボランティア支援機構」に支援金が贈呈されました。ご存じの通りこちらの集いは阪神淡路大震災をきっかけに命、愛、きずの大切さを考えようと1996年から開催しています。

今回参加者は204名でした。支援金の贈呈は国際ソロプロミスト六甲の会員3名が同支援機構が4月に企画した石川県珠洲市でのボランティアに参加した縁から実現したそうです。受け取られた高橋代表理事は「ご厚誼に感謝したい、目に見える形で能登半島地震の被災地で役立てたい」とあいさつされました。また国際ソロプロミスト六甲の渡邊佐知子会長は「被災地に足を運んで活動する団体のお役に立つことが出来て嬉しい」と話されていました。会場には服やアクセサリー、能登地方の人気商品しおサイダー飴などが提供された11ブースのバザーもありました。ランチはホテル特性の中華料理でゆっくりと頂いて帰ってきました。

「SI姫路西 第3回チャリティゴルフコンペ」

2024/5/23

平川 紅仁子

2024年5月23日（木）福崎東洋ゴルフ倶楽部 22組 83名の参加により開催。令和6年度能登半島地震の被災者支援「SI姫路西カルミア就学支援金」女性や子ども達のために活動している団体等に寄付。今年度、当クラブのチャリティゴルフコンペにも宮本会長夫妻がご参加くださり、私達も初めての参加で良き交流となりました。

谷村会長エレクト、三原、森、平川の4名で参加させていただき、楽しい親睦の一日となりました。



ULIKE

「指名委員会」

委員長 北平 としみ

指名委員会は4月末（4月の理事会）に決定しなければなりません。

会長より委員長任命を受け、理事会が2人目の委員を選出、クラブが3人目を通常例会で選出する。

- ・指名委員長→北平としみ理事
- ・理事会推薦委員→三根香南会員
- ・フロアーより選出→森敦子会員以上3名で次期理事会メンバーの準備をし、お願いをしたところ、皆さん快く受けてください思いの他スムーズに承諾を頂くことが出来ました。5月に報告でき6月に審議頂きデレゲートも任命されました。お役を快くお



受け頂きました会員の皆様に感謝申し上げます。

9月よりスタートする、新理事会メンバーのご活躍を応援しています。

「会長エレクトの任を終えて」

谷村 雅美

2023年度の会長エレクトとしてスタートしましたが、次年度は会長の任務を果たさないといけないという不安に駆られ、理事会や例会の流れ、チャリティゴルフ、支援金贈呈式、行事に参加もあり、泉会長の隣で一年間過ごさせていただきました。会長の補佐をするどころか何もお役に立てず、助けて頂くばかりの1年間でした。会長はじめ理事会メンバーの方々に支えられ何とか無事に終える事ができました。皆さんに感謝申し上げます。



今期、会員から事務所の維持について考える時期がきている。との提案があり、特別委員会としてSI淡路事務所の維持を検討する委員会を立ち上げ、会員も減少している中、経費を削減する意味で事務所をなくす方向に決定しました。

皆さまの意見を参考にし、難題が解決してスッキリした気分で次年度をスタートしたいと思います。

「副会長の任を終えて」

小川 はるみ



前回のセクレタリーに続き副会長の大役をお引き受けする時、チャリティ事業という言葉が頭をよぎり不安を抱えながら新しい期がスタートしました。

会合企画委員長としては年間プログラムカレンダー（案）作成が大切な役割で会員全体の会議、理事会メンバー・委員会委員長会議を経てカレンダー（案）を作成しました。

「セクレタリーの任を終えて」

樺本 揚子



ようやく終わりに近づいてきました。最終の理事会をもって、議事録を作成し、9月の例会で承認されてようやく終了です。あともう一息です。

最後の議事録を8月中に提出出来るようにと段取りを考えてみますが、なかなか予定通りにいかないことが多いです。この一年間一日24時間のどこで議事録を作る時間が取れるか四六時中時間のやり繩りに追われていたように思います。真夜中の時間帯が一番だれからも邪魔されずに渉ります。新聞配達のバイクの音が聞こえてくる時もありました。

来期はようやく時間に余裕が持てそうです。

「トレジャラーの任を終えて」

正本 日登美



トレジャラーは3回目なのですが、まだまだ把握出来ていないことが次々と出てきます。

そんな時、恥じらうことなく木下壽子 A.トレジャラー、小谷恵美子財務委員長へ問いかけます。すると直ぐにテキパキとした回答を返してくれます。そのご指導のおかげで自信をもって毎月の収支報告が出来上がります。

トレジャラーの任務は、一年間の活動がよく理解でき動

次にチャリティ事業委員長としては5年振りにチャリティゴルフコンペを開催し奉仕を出来たことが、一番の喜びでした。委員会の皆様と知恵を出し合い新しい形にも挑戦し多くの方々に参加いただきました。

クラブとしての大きな事業を行うにはまだまだ経験が浅く役不足ではありましたが、泉会長はじめ理事会メンバー、委員会の方々に指導いただき又、支えていただいたお陰で副会長としての任務を果たせたと思います。ありがとうございました。

「C.セクレタリーの任を終えて」

平川 紅仁子



コレスポンディングセクレタリーの役割は「各種の通知を受信、発信を担当し他の役員の通常任務に含まれない通信業務を行う」ですが…

今年度、事務局を泉会長がしてくださったので会長には大変な負担をかけてしまいました。理事会での役割分担をよく検討する必要があるように感じました。

例会のための資料を準備するのが C.セクレタリーの主な役割でしたが、理事会は全て各自でプリントアウトしてくださっています。今後、リジョンメール、議事録、トレジャラー報告等、全会員が各自でプリントアウト出来るようにしていってはどうでしょうか!! ご検討よろしくお願ひいたします。

一年間お世話なりありがとうございました。

きが分かります。

2023年度は、ソロプチミスト日本財団委員会推薦者が「ソロプチミスト日本財団活動資金援助金」受賞、アワード委員会推薦者がリジョンナルプロジェクト「大学女子学生支援金」リジョン夢を生きる賞を受賞。委員会の頑張りを通帳記帳する時も、心が弾みました。

今から、一番大切な2023年度収支報告書の残務に取りかかります。

あともう少し「がんばるぞ～！！」

「アシスタントトレジャラーを受けて」

木下 壽子

あっという間の1年間でした。



アシスタントの仕事は毎月トレジャラー正本さんより送られてくるトレジャラー報告と通帳のコピーを見ながら元帳作成をしました。

今まで、例会でトレジャラーが読み上げて頂くのを聞きお金の流れを余り気にしていませんでしたが、元帳を付

けることになり気付くことが多々ありました。

会費の集金で領収書を作ったり、元帳に記載したりと期の初めは緊張しましたが、一年が過ぎれば何事も一度挑戦する事が大切であると思いました。

アシスタントトレジャラーをさせて頂き感謝しています。有難うございます。

「一年を終えて」

理事 北平 としみ



理事はクラブの運営を円滑にし、様々な活動の計画をスムーズに、又クラブが発展するように重要な役割を担う…とあります。会長を終えての理事は、常に会の運営等が気になる一年でもありました。

新しい議題には、理事会で話し合いをしました、理事会経験者も多く話が盛り上ると時には脱線することも多々ありましたが、今思うと理事会が一つになり目標に真摯に向き合っていたのでしょうか・・・わからないことや、疑問があればSOLT-BOKに基づき話し合いもしました。

担当理事としてそれぞれ役割をはたされました皆様、お疲れさまでした。

1年間ありがとうございました。

「一年を終えて」

理事 山岡 仁美子



久々に理事会の一員となり、泉会長始め谷村エレクト、正本トレジャラー等々、若い方々と中堅、ベテランと一緒に貴重な経験をさせて頂きました。理事のお役目は、SOLT-BOOKによると、クラブの円滑な運営とその発展、成長をもたらす諸活動を計画する重要な役割を担うと記載されている。然しながら反対に色々と学ぶものが多くありました。ご多忙のなか、理事会の皆様は何事にもとても熱心に取り組まれていました。“真摯なる友情 偉業達成の喜び 奉仕の尊さ”を実感した一年間でした。会員の皆様のご協力に感謝します。本当にありがとうございました。

「国交省大臣表彰授賞」

木下 圭子

令和六年四月二十二日、国交省大臣表彰授賞式に臨みました。

国交省の大会議室舞台中央に国旗が掲げられ深紅の絨毯が舞台に向かって敷かれていきました。受賞者の内訳は旅館業ホテル業そして旅行業関係の三部門、合計二十一名でした。旅館業の部門を代表して、淡路島の私達が真っ赤な絨毯を踏み大臣の前に進みました。主人が介添え役でした。

思わず「小泉さん」と声をかけた私の声に周りの方が気づきざわめきが起こりました。「木下さんおめでとうございます。記念写真を撮りましょう。私が表彰状の右側、木下



さんは左側を持ってください」賞状の名前を素早く見て、親しげにリードをする小泉代議士に圧倒されました。

クラブの皆様、理事の皆様、お祝いを頂き誠にありがとうございました。

「ゴルフ同好会」

武田 須也子

毎年恒例のソロプロミストゴルフ同好会のコンペが開催されました。勿論、参加です。

昨年のコンペでは、心地良い風に吹かれカートに揺られ居眠りをしたことを思い出しました。今年も広々としたコースをカートに乗って、その雰囲気を味わわせていただけると思うとワクワクしました。

始球式にティーショットを打つように促され、ボールをにらんで打つたら、うまく当たって飛んで行ってくれホットしました。その上、ショートホールでは、パーをとることもできました。昨年よりは 2 ホール余計にプレー出来たことも大変うれしかったです。

メンバーにも恵まれ、素晴らしい一日を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

来年も、よろしくお願ひします。



ナイスショット！



「俳句同好会」



大継 淳子

会員の一人が俳句をやってみたいと願い、会員の中に素晴らしい先生がいて一緒に同好会として誕生して早 12 年目になります。俳句の道は奥深く果てないですが、年と共に失われつつある好奇心のアンテナを強くして五感が少しは敏感になります。



俳句を始めると周囲の景色も違って見えて感動を感じる謂れであると言われています。

会員の皆様も今までに経験したことのない世界と一緒に楽しんでみませんか？

今期の親と子のふれあい俳句大会も、俳句の裾野を広げる一步になればと願っております

雨の日の萩の散り敷く石畠
絵巻生みし石山寺萩の雨
いしやま

泉 栄子
江川隆子

こともなく日々齢重ね水澄めり

天を突く学徒の塔や秋の雲

糞果てし空一面に鱗雲

白木なる神馬の墓に萩こぼる

旗を振る工事現場の秋の雲

六地蔵一本づつの草の花

靈峰の黄昏色に鰯雲

庭先の闇を拡げて虫すだく

賀茂茄子の料理好みし義母を恋ひ

島の子に別れも告げず去ぬ燕

三根香南

山岡仁美子
森 敦子

横井加織

平川紅仁子

小谷恵美子
木下圭子

大継淳子
片山紀子





「2023年度役員名簿」

会長	泉 栄子	
会長エレクト	谷村 雅美	
副会長	小川 はるみ	
セクレタリー	樋本 揚子	平川 紅仁子(コレスポンディング)
トレジャラー	正本 曜登美	木下 壽子(アシスタント)
理事	北平 としみ	山岡 仁美子
デレゲート	山岡 仁美子(1年)	三根 香南(2年)

1年間お疲れ様でした

「2024年度役員名簿」

会長	谷村 雅美	
会長エレクト	森 敦子	
副会長	三原 潤子	
セクレタリー	楠 曜出子	正司 昌代(コレスポンディング)
トレジャラー	清木 なぎ子	横井 加織(アシスタント)
理事	泉 栄子	江川 隆子
デレゲート	三根 香南(1年)	大継 淳子(2年)

よろしくお願い致します



「編集後記」

委員長 濱 裕子

2023年度テーマ「今できること 考え行動しよう」に沿って充実したクラブ活動が出来た一年でした。

コロナが落ち着き生活様式がほぼ日常に戻り、広報委員会は報道関係への取材のお願いに走り回り、写真撮影、リジョンホームページへ掲載アップ、ソロブチミストレター作成等、10月移動例会、「ソロブチミスト日本財団活動支援援助賞」並びに国際ソロブチミスト淡路賞授与式、1月新春懇親会、「大学女子学生・専門学校女子学生支援金」リジョン賞並びに国際ソロブチミスト淡路賞授与式、そして5年ぶりのチャリティゴルフ、親と子の俳句大会と久しぶりに多くの事業を広報することが出来ました。

会員メンバー26名全員が協力し合い、元気に活動して下さったお陰で素晴らしい「HOHOEMI32号」が出来上がったことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員会一同（濱委員長・谷村・横井・森）

